

【考え方】 最大需要が発生する時に、太陽光発電が供給力としてどれだけ期待できるかを算定

様式第32第3表（初年度の月別の計画）への記載

- 1) 各月の最大3日平均電力※発生時における、太陽光発電の発電電力の平均を計算…**a**
- 2) **a**のデータにつき過年度の同月分についても算定（把握可能な年数分）し、値の小さいものから5年分のデータの平均を計算…**b**
- 3) **b**のデータを該当月に記載。これを12か月分実施する。

※ 最大3日平均電力 ある月について1時間の最大需要電力を上位から3日採り、それを平均したもの

ベスト3の需要が発生した各時間断面での、太陽光発電電力の平均を計算

2)において、5年未満のデータしか存在しない場合はデータ取得可能な年数分を平均する。新規運開する発電所については、既存の太陽光発電所の稼働実績データを参考に想定する。既存発電所の稼働実績データ等がない場合はkWの計上はゼロとする。

様式第32第1表（各年度の計画）への記載

- 上記の**b**のデータのうち、8月のデータ（北海道エリアは12月）を記載

様式第32第2表、第4表（kWh）への記載

- 過去の発電実績がない場合は、設備稼働率12%程度で算定した電力量を計上（過去の実績や地域間格差など、他に合理的に説明できる根拠がある場合はそれを参考にして算定）。